

ひらがな・^{かんじ}漢字・カタカナ

URL:<https://youtu.be/-5tsoSADHLM>

今回は「ひらがな・^{かんじ}漢字・カタカナ」を^{まな}学びながら、^{にほんご}日本語を^{べんきょう}勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、^{かんじ}漢字には " ふりがな " があります。
^{こうはん}後半は^{すこ}少しだけ^{はや}速く (+20%) なり、^{かんじ}漢字に " ふりがな " はありません。
^{がくしゅう}学習にお役立てください。

■^{わたし}私のこと

^{わたし}私の^{なまえ}名前はエマです。20さいの^{がくせい}学生です。オーストラリアから^き来^{いま}ました。今
は^{にほん}日本の^{だいがく}大学で^{べんきょう}勉強しています。
^{にほん}日本に^{きょうみ}きょうみを持ったのは、^{こうこうせい}高校生の^{とき}時です。^{ほん}本や^{えいが}映画で^{にほん}日本の^{ぶんか}文化を知り、
^{にほん}日本で^{せいかつ}生活してみたいと思いました。今は^{にほんご}日本語と^{まな}こくさいかんけいについて
^{まな}学んでいます。

はじめは^し知らないことが^{おお}多く、^{ふあん}不安もありました。でも、^{とも}友だちや^{せんせい}先生に^{たす}助け
てもらいながら、^{まいにちたの}毎日^{たの}楽しく^{すこ}すごしています。
^{やす}休みの日は、^ひ町を^{まち}歩いたり、^{ある}カフェで^{べんきょう}勉強したりします。^{あた}新しい^{ばしょ}場所を^み見つけ
^することが好きです。

まだ^{にほんご}日本語は^{べんきょうちゅう}勉強中ですが、^{まえ}前より^{はな}たくさん^{おも}話せるようになりました。これから
も^{にほんご}日本語を^{まな}学び、^{じぶん}自分を^{せいちょう}成長させたいと思っています。

■^{にほんご}日本語の^{もじ}文字を^み見て^{おも}思ったこと

^{にほんご}日本語の^{ぶん}文をはじめて^み見た^{とき}時、とても^{もじ}むずかしく^{もじ}見え^{ひと}ました。一つの^{ぶん}文の中に、
ちがう^{もじ}しゅるいの^{もじ}文字がありました。まるい^{かたち}文字も^{おお}あれば、まっすぐな^{おな}文字も
あります。形や^{ぶん}大きさも^{なが}同じではなく、^み文がとても^み長く見え^みました。

わたし くに 私^{わたし}の国、オーストラリアでは、アルファベットを使^{つか}います。文字^{もじ}の数^{かず}は少^{すく}なく、形^{かたち}もあまりかわりません。そのため、日本語^{にほんご}の文字^{もじ}はとて^{とく}も特別^{べつ}に見^みえました。

よ まえ ふあん きも 読む^よ前^{まえ}に不安^{ふあん}な気持^{きも}ちになりました。ほんとうに読^よめるようになるのか、しんばいでした。はじめは、どの文字^{もじ}から学^{まな}べばよいのか分^わかりませんでした。書^かく時^{とき}も、まちがえることが多^{おほ}かったです。

でも、文字^{もじ}にはそれぞれやくわりがあると知^しりました。ひらがなやカタカナ、漢字^{かんじ}には使^{つか}い方のちがいがあると分^わかりました。少しずつ、文字^{もじ}を見^み分けることができるようになりました。前^{まえ}よりも、文^{ぶん}が読^よみやすくなりました。まだ読^よめない文字^{もじ}や、書^かけない文字^{もじ}もあります。まちがえてしまうこともありま^あす。でも、日本語^{にほんご}はとて^{あたら}もおもしろくて、新^{あたら}しい文字^{もじ}をおぼえるた^おびにうれ^うしい気持^{きも}ちになります。

■日本語^{にほんご}には三^{みつ}つの文字^{もじ}がある

日本語^{にほんご}には、三^{みつ}つのしゅるいの文字^{もじ}があります。一^{ひと}つだけではありま^あせん。「ひらがな」「漢字^{かんじ}」「カタカナ」です。日本語^{にほんご}の文^{ぶん}では、この三^{みつ}つをいっし^いよに使^{つか}います。

はじめて見た時^み、なぜ三^{みつ}つもあるのか分^わかりませんでした。一^{ひと}つの文字^{もじ}だけで書^かけば、もっとかんたんだと思^{おも}いました。でも、日本語^{にほんご}では、それぞれの文字^{もじ}に大^{たい}切^{せつ}なやくわりがあります。

「ひらがな」は、日本語^{にほんご}のいちばん基^き本^{ぽん}になる文字^{もじ}です。文^{ぶん}をつなぐことばや、やわらかい言^{いい}い方^かを書^かく時^{とき}に使^{つか}います。子^こどもがはじめてに学^{まな}ぶのも、ひらがなです。ひらがながないと、日本語^{にほんご}の文^{ぶん}は作^{つく}れま^ません。

「漢字^{かんじ}」は、ことばの意^い味^みをはっきりさせる文字^{もじ}です。何^{なに}のこ^こを^か書^かいてい^いるのか、すぐに分^わかるようにしま^ます。同^{おな}じ読^よみ方^{かた}でも、漢字^{かんじ}がちがうと意^い味^みもか^かわ^わります。

「カタカナ」は、外^{がい}国^{こく}のことばや、名^な前^{まえ}、音^{おと}をあらわす時^{とき}によ^よく使^{つか}います。目^め立^だたせたいことばを書^かく時^{とき}にも使^{つか}われま^ます。

みっ もじ ぶん よ ぶん いみ わ ぶん ひと もじ つか
三つの文字は、それぞれちがうはたらきをしています。三つをいっしょに使う
ことで、文が読みやすくなり、意味も分かりやすくなります。一つの文字だけ
では、日本語らしい文になりにくいです。

■ ひらがなは文の土台

ひらがなは、やわらかい形かたちの文字もじです。まるみのある形かたちが多く、やさしいいん
しょうがあります。日本語の文では、ひらがなをととても多く使います。文の中
で、いちばん多く見る文字もじです。

「は」「を」「に」「が」などは、ひらがなで書きます。これらは、ことばと
ことばをつなぐ大切な文字もじです。だれが、何を、どこで、どうしたのかを分か
りやすくします。ひらがながあることで、文の意味がはっきりします。

また、動くことうごをあらわすことばことばの後ろうしろにも、ひらがなを使います。たとえば、
「食べる」「見ます」のように、漢字のあとにひらがながつきます。これを
「送りがな」と言います。送りがながあると、読み方や形が分かりやすくなり
ます。

ひらがなは、むかしの漢字かんじから生まれた文字もじです。

漢字かんじがわからない時ときも、ひらがなで書くことができます。そのため、文ぶんを止め
ずに読むことができます。ひらがなが分わかると、日本語の文が少しずつ読める
ようになります。

はじめに、ひらがなを学ぶ人ひとが多いです。ひらがなは、日本語のいちばん大切
な土台どだいです。日本語を学ぶ上うへで、なくてはならない文字もじです。

■ 漢字は意味をあらわす

かんじ ひと もじ いみ もじ み なに はなし すこ
漢字は、一つの文字もじに意味いみがあります。文字を見るだけで、「何の話はなしか」が少
し分かることがあります。たとえば「山やま」は山の形かたちに見えますし、「川かわ」は水
がながれる形かたちに見えます。こういう字じは、見た目からイメージしやすいです。

漢字は、中国から来た文字です。日本では、日本語の文の中で、ひらがなといっしょに使います。漢字は、物の名前や場所、気持ちなどをあらわす時にも使います。

漢字を使うと、文が読みやすくなります。なぜなら、目で見ただけで、たいせつなことがすぐわかるからです。たとえば「きょう は がっこう に いきます」より、「今日 は 学校 に 行きます」のほうが、意味をつかみやすいです。漢字があると、文の中で「大事なことは」が目に入りやすくなります。

また、同じ読み方でも、漢字がちがうと意味がかわります。たとえば「はし」は、「橋」「箸」などがあります。音だけだと分かりにくいですが、漢字があると、どちらの意味かすぐ分かります。

はじめは、むずかしく見えます。しゅるいも多く、書くのもたいへんだと思います。でも、よく見る字から学ぶと、少しずつ分かるようになります。まずは、毎日使う字（人、日、月、年、今、行、見、食など）からおぼえると、読む力が上がります。漢字が分かると、文を読むのが早くなります。

■カタカナは生活でよく見る

カタカナは、かくばった形の文字です。ひらがなよりも、せんがまっすぐで、形がはっきりしています。

カタカナは、外国のことは書く時によく使います。たとえば、パン、コーヒー、ホテル、タクシーなどです。日本語の中で、外国の音をあらわすための文字です。日本は外国から来たことは多いので、カタカナをよく使います。

また、人の名前や会社の名前を書く時にも使われます。しょうひん名や店の名前も、カタカナで書かれることがあります。そのため、町を歩いていると、カタカナをたくさん見ます。駅のあんない、スーパーの売り場、メニュー、本のタイトルなど、いろいろな所にあります。

さらに、音を強く見せたい時にもカタカナを使います。たとえば、「ドキドキ」「ワクワク」などの音のことばです。ひらがなよりも、目に入りやすくなります。

はじめは、形がにっていて読みにくいと感じるかもしれません。でも、よく見ることばからおぼえると、だんだん読めるようになります。カタカナが分かると、買い物や食事の時にとてもやくに立ちます。カタカナは、日本で生活するために大切な文字です。町の中で、毎日出会う文字です。

■外国の人から見た日本の文字

外国の人から見ると、日本語の文字はとても特別に見えます。三つの文字をいっしょに使う国は、あまり多くありません。多くの国では、一つの文字のしくみを使います。

たとえば、英語ではアルファベットを使います。文字は二十六こで、形も大きくはかわりません。中国語では、漢字だけを使います。日本語の漢字とにている字もありますが、形や意味がちがうこともあります。スペイン語やフランス語も、アルファベットを使います。

ひらがなは、文字が四十六こあります。「あ・い・う・え・お」から始まる文字です。にごった音や、小さい文字を入れると、つかえる音はもっと多くなります。

カタカナも、基本の文字は四十六こあります。音はひらがなと同じですが、形がちがいます。カタカナも、「ガ」や「パ」などの音を入れると、つかえる音がふえます。

漢字は、とても多い文字です。日本でふつうに使われる漢字は、二千百三十六字あります。これを「じょうよう漢字」と言います。でも、じしょには何万字もの漢字があります。学校では、小学校で千二十六字を学びます。

そのため、日本語の文をはじめて見ると、とてもむずかしくかんじます。一つの文の中に、ちがう形の文字がまざっているからです。どこから読めばよいのか、分からなくなる人もいます。

みっ もじ もじ
三つの文字は、はじめはむずかしく見えます。でも、すこ づつ 学ぶと、ぶん よ
みやすくなります。がいく ひと
外国の人でも、ゆっくり学べば、かならず分かるようになります。

■ にほん もじ わたし 日本の文字とこれからの私

にほんご まな
日本語を学びはじめたころ、みっ もじ
三つの文字はとてもむずかしくかん
感しました。でも、
いま すこ よ
今は少しずつ読めるようになりました。まえ なが み ぶん
前は長く見えた文も、今は意味が分か
ることがあります。そのとき ぎも
時、とてもうれしい気持ちになります。

さいきんは、まち
さいきんは、町のかんばんやメニューをよ
読むことにちょうせんしています。まえ
はよ
読めなかったことばが分かん、にほん せいかつ
日本で生活しているじっかんがわきます。

さいきん、わたし
私がおもしろいと思ったおも かんじ
漢字は「木」というじ
字です。「木」がふた
で「林」、みっ もり
三つで「森」になります。木がふえると、森になるというかんがえかた
考え方が
おもしろいとおも かんじ
思いました。かたち み
形を見るだけで意味が強くつよ
なるところが、にほんご
日本語ら
しいと感じました。漢字には、かたち なか いみ
形の中に意味があります。そうおも
思うと、日本語
はただむずかしいだけでなく、とてもおもしろいことばだと思ひます。
まだよ
読めない文字もあつし、もじ か
書くともちがえることもあつし、でも、みっ
三
つの文字をもっとじょうず つか
上手に使えるようになります。

これからは、ほん じぶん ちから よ
これからは、本を自分の力で読めるようになることがもくひょうです。そして、
にほん とも
日本の友だちと、もっとしぜん はな
に話せるようになります。にほんご まな
日本語は、学べ
ばまな
学ぶほどおもしろいです。

「ひらがな・かんじ
漢字・カタカナ」はいかがでしたか。
らん かんそう おし
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
べつ どうが あ
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI

